

# 新規参入者の経営安定化への酪農技術支援

(新規参入酪農家)

## 1 課題の背景 \*\*\*\*\*

○対象：新規参入酪農家2戸

### 課題

- ・担当地区では、毎年数戸ほど酪農家が新規参入している。
- ・その中で新規参入者の経営安定化に向けた、飼養管理技術向上と自農場の営農体制の確立が求められている。

### 支援内容

酪農試験場と連携して、モニタリング調査から飼養管理改善への助言

### 目標

- ・新規参入者の経営安定化に向けた、飼養管理技術向上と自農場の営農体制の確立
- ・計画乳量100%達成（生乳出荷抑制のため評価なし）

## 2 活動の経過 \*\*\*\*\*



モニタリング調査を実施し、調査結果を農業者と協議



写真やデータを確認しながら、飼養管理改善に向けた提案

### 飼養管理改善に向けた提案内容

#### A農場

- 採食する際に、ネックチェーンを保定する金具と牛の首が摩擦して擦り傷が確認されたため、施設改善を提案。
- 全体的に被毛が荒れ、かゆみによるストレス行動が確認されたため、疥癬症治療のための駆虫剤散布を提案。

#### B農場

- 周産期疾病の低減に向け、乾乳牛に農場内で早めに収穫した粗飼料を給与することを提案。

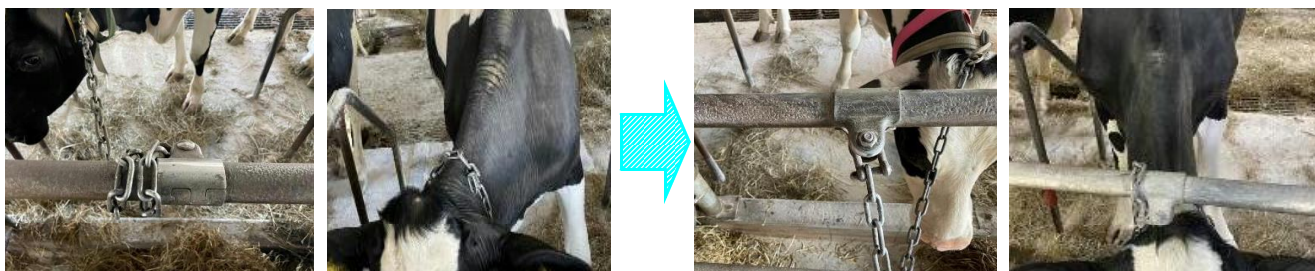


A農場でネックチェーンを保定する金具の向きを首が摩擦しない位置に変更

3 活動の成果 \*\*\*\*\*

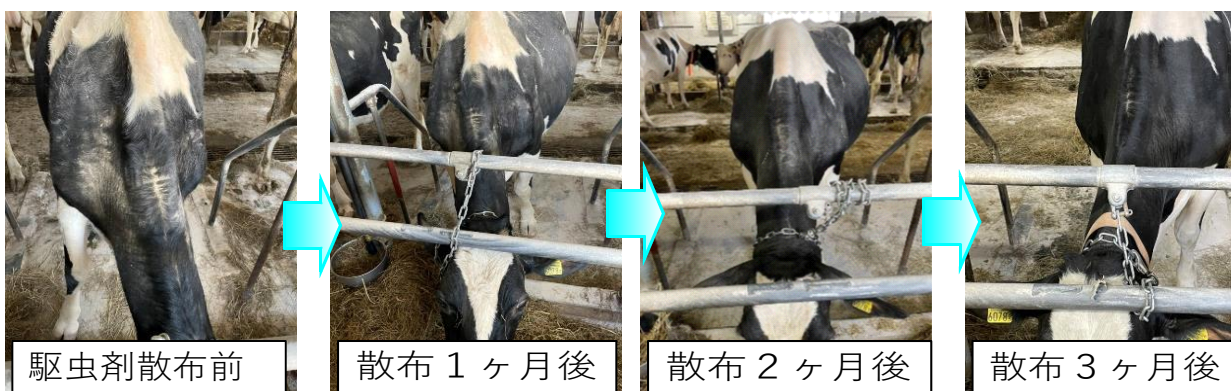
A農場

改善内容①：ネックチェーンを保定する金具の突起の向きを飼槽側に変更



改善効果：採食範囲が広がり、採食時に首の擦れがなくなり傷が解消

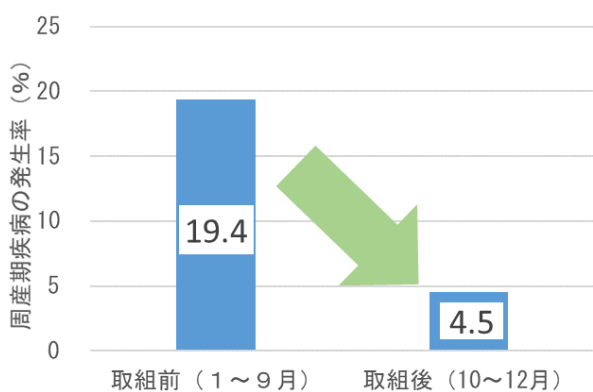
改善内容②：被毛が荒れ、かゆみストレスなど疥癬症の解消に向けて駆虫剤散布



改善効果：疥癬症がなくなり、定期的な駆虫剤散布が定着

B農場

改善内容：乾乳牛に農場内で早めに収穫した(良質な)粗飼料を優先的に給与



「周産期疾病の発生が減りました」  
「発生しても症状が軽く予後良好な牛が増えたので、乾乳牛への良質粗飼料給与を続けていきたいです」



B農場経営主の声

改善効果：周産期疾病率は大幅に減少し、良質粗飼料の給与が定着

4 今後の活動 \*\*\*\*\*

- ・対象農場には要請に応じてさらなる営農体制の確立に向けた支援
- ・本課題対応を踏まえて新たな新規参入者への営農体制の確立に向けた支援